

【2026年度 看護部目標】

- (1) 各病棟機能の理解と連携強化を図り、円滑なベッドコントロールにより病院経営に参画する
 - ① 患者を断らないスムーズな入院受入れ体制を整える
 - ② 病棟機能と受入れ患者の特性を明確にし、病床機能に応じた看護を実践する
 - ③ 施設基準（重症度・医療看護必要度）を満たす数値を意識したベッドコントロールを行う
 - ④ 診療報酬改定に対応した病棟運営を行う

- (2) 安全と信頼を支える対話力の向上を図り、信頼される看護を提供する
 - ① 声のトーン、話し方に注意し思いやりのある接遇の実践
 - ② 報告・連絡・相談を徹底し、患者・家族・多職種とのコミュニケーションを深める
 - ③ 患者および職員の立場を尊重し思いやりのある職場風土を醸成する
 - ④ 安全に配慮した療養環境を提供する
 - ⑤ マニュアルに沿った標準的なケアを提供する
 - ⑥ リスク感性を高め基本的安全確認行為を徹底する
 - ⑦ 感染防止対策を徹底する
 - ⑧ レジリエンス力を高め変化する医療環境に柔軟に対応する

- (3) マニュアルの活用による看護業務の可視化・標準化を推進し、看護の質向上を図る
 - ① 業務を見直し、マニュアルの整備と活用の定着を図る
 - ② 委員会活動および教育活動へ積極的に参加する
 - ③ 心理的安全性を高め、持続可能で働きやすい職場環境づくりに取り組む
 - ④ タスクシェア・タスクシフトに対応した業務体制を推進する

- (4) 学び続ける専門職として主体的に自己研鑽を重ね、実践能力の向上を図る
 - ① 教育体制を強化し、専門職として学び続けられる環境を整備する
 - ② スタッフ一人ひとりが自己の役割を理解し、遂行できる能力を身につける

2026年4月1日